

ISR G2設定ガイド

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、Ciscoサービス統合型ルータ(ISR)G2の設定方法について説明します。

背景説明

ISR G2の管理者は、グローバルネットワークの208.67.222.222および208.67.220.220のDNS IPアドレスを使用できます。このサービスは、ISRから送信されるすべてのインターネットトラフィックを可視化し、ユーザのインターネットエクスペリエンスを高速化します。

注：このガイドはISR G2向けであり、ISR 4Kシリーズ向けではありません。ISR 4Kを使用する場合は、『ISR 4KとISR 1100の統合 – セキュリティ設定ガイド』を参照してください。

設定

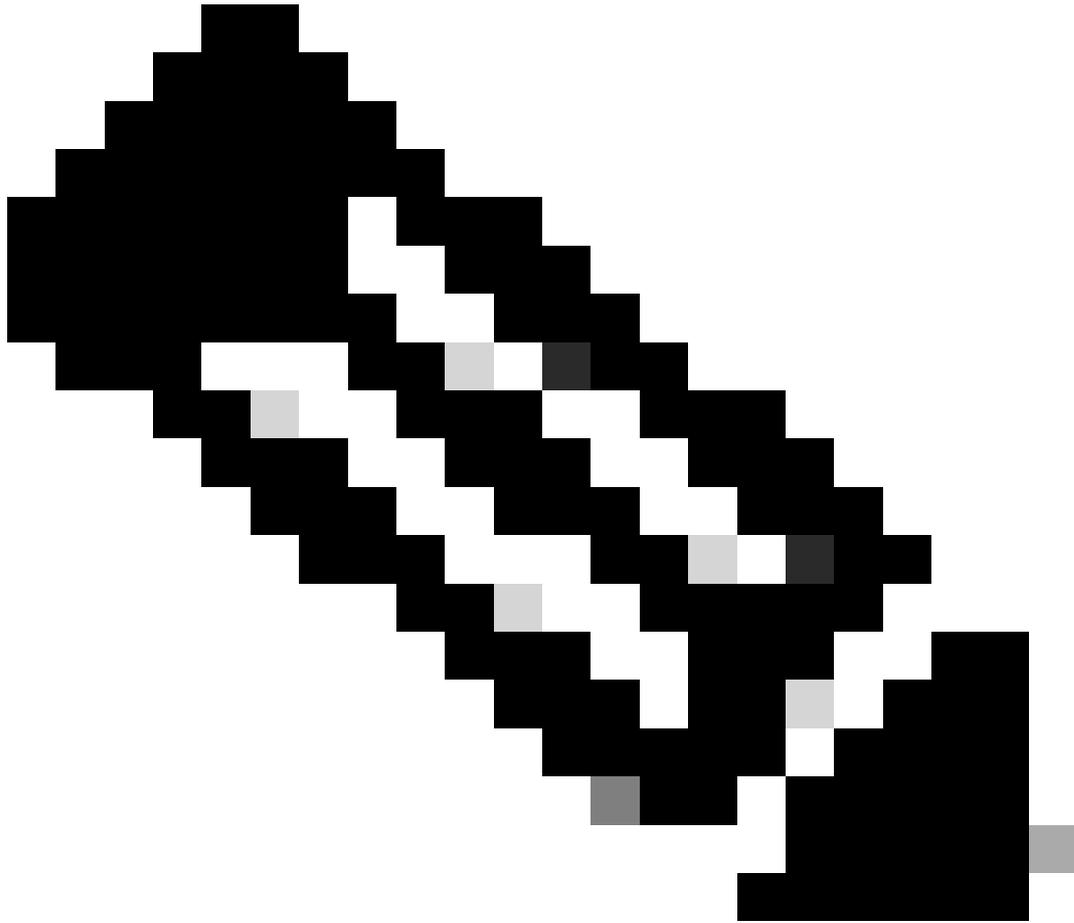
次の表は、ISR G2とISR 4000の相違点と利用可能なパッケージをまとめたものです。

機能	ISR 4K	ISR G2
組み込みコネクタ	Yes	いいえ
DNS層の保護	Yes	Yes

インテリジェントプロキシ	Yes	Yes
SSL復号化	Yes	Yes
DNSCrypt対応	Yes	いいえ
インターフェイスごとのポリシー	Yes	いいえ
透過型DNSプロキシ	Yes	いいえ
DHCP/エンドポイントDNSの変更が必要	いいえ	Yes
クライアントIPレポート	対応(Cisco IOS® XEバージョン16.6.1以降が必要)	いいえ
ダイナミックパブリックIPアドレスのサポート	自動	ダイナミックDNS経由
Umbrella Branchパッケージを利用可能	Yes	いいえ
その他のアンブレラパッケージも利用可能	プロフェッショナル、洞察、プラットフォーム	プロフェッショナル、洞察、プラットフォーム

シスコのDNSサーバは、ISR G2のネームサーバとして使用できます。例：

```
hostname(config)# ip name-server 208.67.222.222 208.67.220.220
hostname(config)# ip domain lookup
```



注:ISR G2で内部DNSを解決する必要がある場合は、内部DNSサーバを使用する必要があります。このシナリオでは、内部DNSサーバは、DNSフォワーダとしてUmbrellaを使用するように設定されています。

ISR G2 DHCPサーバにDNSサーバを使用することもできます。その結果、ISR G2からアドレスを受信するデバイスも保護されます。例：

```
hostname(config)# ip dhcp pool <pool_number>  
hostname(dhcp-config)# dns server 208.67.222.222 208.67.220.220
```

確認

ISR G2を設定したら、「[Umbrellaのテスト宛先は何か](#)」を参照してUmbrellaが機能していることを確認します。

トラブルシュート

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。